

日程 平成 30 年 8 月 25 日～27 日 (北ア) 針ノ木岳～船窪岳縦走

8/25 JR 信濃大町駅＝扇沢－大沢小屋－針ノ木小屋 (泊)

8/26 針ノ木小屋－針ノ木岳－蓮華岳－北葛岳－七倉岳－船窪小屋 (泊)

8/27 船窪小屋－天狗の庭－七倉山荘＝信濃大町＝新宿

撮影者：笠原

8/25



←01 扇沢より登山口に入る

雨が降ったり止んだりの生憎の空模様。レインウェアを着込み登山口に入る。



02 沢沿いを高度を上げながら→

蒸し暑くレインウェアを着たり脱いだりと忙しく調整しながら沢沿いの登山道を高度を上げながら進んだ。



←03 針ノ木の大雪渓はもう雪が無く

大雪渓はもう雪が少なく、崩れそうなスノーブリッジとなって歩くことができなかった。



04 渡渉を繰り返しながら→

何度か渡渉を繰り返しジグザクに登っていく。高度が上がる毎に植生が変わり単純な登りを楽しませてくれる。シシウド、ウサギギク、フウロ、ダイモンジソウなどが登山道を飾っていた。



←05 針ノ木峠

針ノ木峠に到着。雨は止まず眺望もない為、早速小屋に入る。既に乾燥室はカオス状態になっていた。夜は風と雨が吹き荒れる音を聞きながら就寝。明日は大丈夫かな・・・



←06 まずは針ノ木岳

雨は上がっているが、靄で眺望はあまり良くない。まずは針ノ木岳を目指して軽身でピストン。



07 針ノ木岳山頂 →

霧・靄で眺望はないが本日最初のピーク針ノ木岳を踏み集合写真を撮る。



←08 蓮華岳へ

改めて身支度を整えて、本日の2ピーク目蓮華岳を目指す。風が非常に強い。



09 次の北葛岳へ→

蓮華岳は眺望もなかった為、集合写真は端折り、先を急ぐ。
強風に耐えるように名残のコマクサが咲いていた。



←10 蓮華の大下り

あんなに下まで降りて登り返すの！？ 振り返ってみる岩壁、崖のルート。「槍より厳しいよ」、「劔の縦パイより厳しいかも」といった声が連発。

↓11 激しい登り返しの連続

降りきるコルの部分が見えません。どこまでこの岩場を降りなくてはなのでしょう？



鎖がなかったらバリエーション？というくらい





←12 北葛岳集合写真

厳しい登り返しを超えて、北葛岳へ。青空も見えて眺望も素晴らしいが相変わらず風は強い。遠く船窪小屋が見えているがまだまだ先は長く厳しい。



13 遠く槍ヶ岳も→

北葛岳からは遠くフォトジェニックな槍ヶ岳も見ることができた。



←14 まだまだ続くハシゴや鎖

大下りで山場は越えたかと思いきや、まだまだ岩場、ハシゴやワイヤーの連続。



15 本日最後のピークへ→

岩場でにっこり嬉しそうな SL をよそに、
やっと七倉岳だーとほっとする。



←16 七倉岳

大下りを越えればおまけのようなピークと思っていたら、北葛～七倉もかなりタフなルートでした。



17 船窪小屋→

やっと船窪小屋が近づいて来ました。
目視出来てからが遠かった！
大変な登り返しの連続だった！

8/27



←18 ランプの宿 船窪小屋

あたたかいおもてなしで評判の船窪小屋。先代のお父さんお母さんは昨年山を降り、今は息子さんが引き継がれていました。出発の鐘に見送られて出発。

19 下山開始→

今日は朝からとても良い天気で、富士山も綺麗に見えていた。



←20 天狗の庭

天狗の庭を越えると樹林帯に入り、眺望は無くなる。七倉ダム、高瀬ダムを眼下に眺望を楽しむ。



21 カウント表示→

船窪小屋からほんの少し歩いたところから 10/10 のカウントが付いており、歩程の目安になる。



←22 鼻突き八丁

胸突八丁ならぬ、鼻突き八丁。急斜面にかかる木ハシゴの連続で、下りもなかなかタフなルートです。



23 七倉荘へ→

山ノ神トンネルから吹き出す風が冷たく気持ちが良い。橋を歩いていると、管理員さんがゲートを上げてくれた。
全行程無事終了。